

青少年防災・減災未来フォーラム2023

日時 令和5年9月16日(土) 9:30~16:00

場所 山形県青年の家

対象 県内の中高生、大学生、ボランティアサークル・団体のメンバーや指導者等 50名程度

内容

講義・ワークショップ

避難所運営の実際と教訓 / 災害発生後の課題と対応
災害ボランティアの意味 / 自助・共助・公助の限界
/ 心のケアとPTG (悲しみと向き合う力)

【講師】 311いのちを守る教育研修機構協力研究員

東北大学非常勤講師・元宮城県石巻西高校校長

齋藤 幸男 氏

若者からのメッセージ (提言)

「災間を生きる者として～命と向き合い、いのちをつなぐ防災～」

申込

別紙申込書に記入のうえ、**9月5日(火)**まで
FAXまたはメールで申し込んでください。

参加料

490円(昼食代、保険料)

持ち物

筆記用具、内履き
スマートフォンやタブレット端末
(含イヤホン)



<講師の御紹介>

齋藤 幸男 氏

2011年3月11日の東日本大震災発生時に石巻西高校の教頭として避難所運営にあたる。当時の石巻西高校は正式な指定避難所ではなかったが、人道的な立場から教職員だけで44日間の避難所運営を行った。体育館は遺体仮安置所・検視所となり、校舎を開放して地域住民の避難生活を支援した。さらに、11名の生徒が震災の犠牲になるなかで、教職員は生徒に寄り添い続け、生徒はともに支え合いながら学校の教育活動を再開していった。2012年に同校の校長になり、2015年に退職。全国各地を講演や教員研修などで飛び回り、震災の教訓を語り継ぐ活動を通して「いのちと向き合う教育」の大切さを訴えている。